

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 6 月 7 日

【評価実施概要】

事業所番号	0570812362
法人名	医療法人 長慶会 (豊島医院グループ)
事業所名	グループホーム 桜木荘
所在地	秋田県大仙市協和船岡字上宇津野249番地1 (電 話) 018-881-7880
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成21年6月5日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

理事長の由緒ある旧家の跡地に秋田県の天然記念物のしだれ桜があることからホームの名前の由来がある自然に恵まれたホームです。敷地内には竹林、杉、栗、梅等の木々、畑等があり、入居者や職員だけでなく、地域の方々と一緒に収穫を楽しみ、入居者のアドバイスをいただき作られたメニューに舌鼓を打ち、味わっております。地域の花火大会では、庭でバーベキューが行われ、運動会、雪まつり、鹿島流し、梵天等の地域行事への参加、弁当持参で公民館でカラオケ、買い物、外食、ドライブ等々、地域に自然に溶け込み、地域からの依頼を受け、全戸のしめ縄づくりを入居者・職員で行う等の貢献もされているホームです。中央に事務所を配置し、同じ作りの2ユニットが配置されていますが、それぞれに特徴を持ち、独自の工夫が観られます。「真心」を理念に、個人を尊重し、地域や自然とのふれあい、馴染んだ環境の物や事を大切に、医師である理事長の下、安心あるホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4) 前回評価では、主な改善項目はありませんでしたが、小さなことに気づきを持ち、改善に向け取り組まれておられました。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4) 今回から様式が変わったこともあり、職員それぞれが、数項目について自己評価を担当され、会議で話し合い、管理者がまとめて記載をする形で行われています。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6) 今年度、運営推進会議のメンバーが入れ替わり、自治会長、包括支援センター職員、老人クラブ会長、近隣住民代表、薬剤師会会長、民生委員、家族代表、理事長、ホーム代表等々で2か月に1回の割合で行われております。運営、活動報告、事業計画、避難訓練、感染対策、事故・ひやりはつと、地域行事への参加、外部評価、地震対策等々、忌憚のない意見交換が行われ、運営に反映されております。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8) 契約時の説明や掲示、意見箱の設置によって、苦情のあった場合の対応方法は確立されております。また、面会時や電話等で意見や要望を引き出す働きかけが行われ、運営推進会議でも報告が行われ、改善に向けた意見交換が行われ運営に反映されています。
重点項目	④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3) 地域向け広報を発行され、ホーム行事のお知らせや散歩時に声を掛け合い、お茶をいただいたり、地域行事への参加、公民館の活用、老人クラブの方々の草取り等の協力を得る、地域からの依頼でしめ縄づくりをホームで行う、避難訓練への協力など、地域の一員として、馴染みの関係づくりが行われ、溶け込んでいます。

【情報提供票より】 (平成21年5月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15 人, 非常勤 人, 常勤換算	6.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1 階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	23,010 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり		1,050 円

(4) 利用者の概要 (5月20日現在)

利用者人数	16 名	男性	0 名	女性	16 名
要介護 1	3	要介護 2	6		
要介護 3	5	要介護 4	1		
要介護 5	0	要支援 2	1		
年齢	平均 87 歳	最低	70 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	豊島医院、リハビリテーション精神医療センター、協和病院、協和歯科医院
---------	------------------------------------

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「真心」がホーム理念として掲げられ、ケアの基本原則の中で、地域や自然とのふれあい、馴染んだ環境の物、事を大切に個人を尊重し、地域との交流を大切に、地域の中でその人らしく暮らし続けられるように事業所独自の理念を作り出しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所内に掲示され、毎日の朝礼で唱和が行われ、職員への意識づけと実践に取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事へは積極的に参加され、地元の方々が草取りやボランティアとしてホームを訪問して下さったり、地域から依頼を受け、全戸のしめ縄の作成依頼をホーム利用者が請け負ったりと、地域の一員として溶け込んだ交流が行われています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価の意義を理解され、職員で話し合いが行われ、評価を活かし、改善に向けて積極的に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、包括支援センター職員、自治会長、老人クラブ会長、民生委員、近隣住民代表、薬剤師会会長、法人代表者、利用者家族代表者等によって構成され、グループホームの活動報告、事業計画、避難訓練、感染対策、地域行事への参加、外部評価等について、話し合いや意見交換が活発に行われ、サービスの向上に活かした取り組みをされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	機会ある毎に市や包括支援センター等に電話で、相談・助言をいただき、サービスの質の向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の写真付きホーム便りで活動状況が報告され、また、面会時や電話等によって、暮らしぶりや健康状態等の報告が行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や面会時、電話等によって、意見や要望、苦情等が言い出しやすいように働きかけ、さりげない会話の中から引き出しが行われ、会議で話し合い、運営に反映されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	棟続きの為、職員の行き来があり、馴染みの関係づくりが常日頃より行われておられ、職員の異動に関しても大きな混乱もなく済んでいます。また、離職については、自然に忘れるように配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については希望や段階に応じ積極的に参加できるように取組まれ、ミーティングの場で復命発表があり、活かしています。また、職員から、自発的に研修希望が多々あり、外部講師を招いたり、職員によって内部研修が行われ、育成が行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域・県・全国のグループホーム協議会に加入しておられ、訪問見学会やおしゃべり会等によって、情報交換や交流が行われています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	在宅からの利用者については、本人・家族の見学があり、また、病院や他の施設からの入居希望者については、家族の見学によって、本人に伝えられ、ポイントを理解しての利用につながり、徐々に馴染めるように配慮され、安心に繋げる工夫が観られます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントによって得た情報を元に生活歴やこれまでの生き方を理解され、それを尊重し、日々の生活の中で、共に作業をすることで楽しみや喜びを分かち合い、学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活を通しての会話や仕草から、本人の思いや意向の把握に努められ、アセスメントが行われ、情報の共有が図られています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや意向、家族の要望等、日々の状況から、担当者会議によって、本人がより良く暮らすための課題やケアの在り方について話し合わせ、反映されたケアプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には6カ月の長期目標、3か月の短期目標の設定でケアプランが作成されていますが、毎月評価が行われ、随時の見直しや追加等のプランの変更が行われ、記録もあります。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、要望に応じ、受診や外出時の送迎等が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関への受診や必要時の往診を受けていますが、本人・家族の要望に応え、他医療機関への受診にも対応されています。また、遠方の場合は、家族に協力依頼をされる場合もあります。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人・家族の希望に応えられるように話し合いの場を持たれ、最終的には、医師の判断と指示を仰ぎながら、情報の共有に努められています。また、マニュアルの作成への準備中です。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉の掛け方や対応によって、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。また、記録物は鍵のかかるロッカーに保管され、廃棄物についても特定できないように配慮され、廃棄されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理方法についての助言をもらいながら、下ごしらえのお手伝いをいただき、できない方には一緒に雰囲気味わっていただきながら、楽しみながら準備等が行われています。1名の職員と一緒に食事を摂られ、食材や味付けについて利用者との会話に盛りあがりが見られました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	入浴は毎日でも可能であり、最低でも週に2回は入っていただけるように支援されています。体調不良等で入浴できない時には、清拭や足浴で対応されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や残存機能・能力を活かし、食材の下ごしらえや掃除、畑づくり、水やり、作品づくり等々で、できること・できそうなことを見つけ出し、役割が持てるように配慮されております。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や弁当持参での公民館利用のカラオケ、地域行事への参加、買い物、ドライブ、外食等々、希望に沿って日常的に外出支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災発生時の避難訓練が日中・夜間想定で消防署、地域住民の協力の元、行われております。また、地震や火災についても自主訓練が行われ、さらにスプリンクラーの設置もあり、災害時に備えておられます。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病院栄養士の献立を見本として、スタッフや利用者の希望を取り入れた献立を作成され、栄養バランスの取れたものとしております。また、摂取量や水分量のチェックが行われ、状況の把握に努められ、体調や咀嚼状況に応じた食事の提供が行われております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂からベランダが眺められ、季節感あふれる花々が飾られ、手作りの作品や行事時の写真で共有空間が装飾され、家庭的でゆったりとくつろげるソファやテレビの配置、みんなと一緒に活動できる食堂テーブル等、生活感や季節感を十分に取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人が身の回りで使用していた鏡台や椅子、テーブル、畳等が持ち込まれ、手作りの作品、写真、カレンダー等で装飾され、意向に沿った生活スペースを作り出しています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。